

第三種郵便物承認 HSK（遊ぼうよNo.92） 通巻4922号 2019年2月13日発行

もう一つの「ミナ.クル」という建物ですが、設計・計画が発表され障害者団体に説明会があった時点からバリアの多い建物になっていました。障害者団体から何度も設計者に交渉しましたが、受け入れられず完成となりました。

私も完成後、仲間と視察に行きましたが視察して驚きました。「ミナ.クル」の建物に入る入口が急な坂になっており、床面はガタガタで車いすで入ることが難しくなっていました。多目的トイレは狭いし、多目的トイレに行くまでに重い扉がありました。急なスロープがあるのですが、手すりもなく大変危険でした。

そのことを七尾市社会福祉協議会、中能登町社会福祉協議会と「ミナ.クル」バリアフリー探検と称し、健常者の方々にも車いすに乗り、車いす体験をしていただき「ミナ.クル」の施設を廻りました。それによってバリアの多い建物であることを知っていただきました。

この体験を元にして、当時(2007年)の七尾市長にお時間を作っていただき、バリアフリー探検に参加した仲間と市長と懇談会を行いました。市長は真剣に聞いてくれ、各担当部署の担当者も参加して私たちの要望に回答していただきました。その後、「ミナ.クル」の改修工事をしていただきました。全部のバリアを改修工事は出来ませんでした。危険度が高い箇所を重点的に改修工事をしていただきました。

～次号へ続く～



(※写真・改修前「ミナ.クル」床面) ガタガタで歩きにくい

以下のアドレスにアクセスすると詳しい情報を見ることができます。

<http://jiritsusien.com/2014sinkan/2014sin.html>